

# ま ち の 話 題

## 豊岡

### まちの将来を 熱く語る若者たち



中貝市長に1問1答形式で質問をぶつける若者のまなざしは真剣そのもの

12月1日、まちの将来を担う20代、30代の若者たちと市長が「まちづくりって何？」をテーマに、共に語り合う会が、祥雲寺の市立地域農業管理施設で開催されました。

この会は、但馬夢テーブル委員会の次世代ネットグループの呼びかけで、建設業や農業、かばん製造業などに携わる15人が参加して行われたものです。参加者からの「若者が安住できる雇用対策」や「豊岡の地場産業である靴産業の活性化」との声に、中貝市長は「市内の優秀な企業を知り情報発信する」、「コウノトリ悠然と舞う豊岡のものづくり」として『豊岡靴』をさらにPRしたい」と答え、まちづくりについて意見交換しました。

## 城崎

### 城崎温泉駅前に カニのモチーフが登場

城崎温泉冬物語イルミネーション

11月30日、夜の城崎温泉街をきらびやかに光りで彩るイベント「城崎温泉冬物語」(城崎温泉観光協会主催)の点灯式が、JR城崎温泉駅前で行われました。

当日は、関係者約50人が出席し、点灯のスイッチが入られると、駅前広場に設けられた高さ約2メートル、直径約30センチの対になったカニのつめがライトアップされました。また、周辺のプラントに付けられた約2,000個のLED(発光ダイオード)も点灯され、駅前に彩りを添えていました。

イルミネーションは、来年2月29日まで、夕暮れから午前0時まで点灯されますので、皆さん、ぜひ、ご覧ください。



城崎温泉街の玄関口のJR城崎温泉駅前にできたカニのモチーフが観光客を出迎える

## 竹野

### みんな一斉に よーいドン!!



爽やかな秋風の中、各部一斉にスタートする参加者ら

11月23日、キューピットマラソン大会へ竹野町体育協会主催)が、竹野町須谷のたけのこうえんを発着点とするキューピットマラソン特別コースで開催されました。

この大会は、スポーツを通じて、住民相互の親睦を深めることを目的に開催しているもので、兵庫県最北端に位置する猫崎半島がキューピットに似ていることから「キューピットマラソン大会」と名付けて親しまれ、今年で21回目を迎えました。

当日は、5キロメートルの部、3キロメートルの部とジョギングの部に合計88人が参加し、参加者は、沿道からの声援に元気に手を振りながら、爽やかな汗を流していました。

まちの情報などがありましたら、秘書広報課広報広聴係まで連絡ください。



メンバーが丹精込めてつくった旬の野菜が所狭しと並ぶ会場。訪れた人たちは、豚汁やまぜごはんを食べて温まっていた

## 日高

マロニエの里朝市「感謝祭」

### あったかうどん

### 心も和む

12月7日、日高町生活研究グループ連絡協会の主催により、マロニエの里朝市「感謝祭」が日高健康福祉センター前広場、日高町祇布で開催されました。

当日は、大根や白菜など旬の野菜、マロニエうどん、もちの販売に加え、豚汁やまぜごはん、コーヒールなどが振る舞われ、訪れた人々にぎわいをみせていました。

マロニエの里朝市リーダーの木内玉枝さんは、「私たちが丹精込めて作った旬の野菜を、ぜひ、食べてください」と自信たっぷり。マロニエの里朝市は、3月から12月までの毎週金曜日に開催していますので、皆さん、ぜひ、お越しください。

## 出石

### 2年3カ月ぶりに 故郷の出石川へ

オオサンショウウオの試験放流



オオサンショウウオを筒を使って1頭ずつ放流する寺坂小学校の児童たち

11月16日、平成16年台風23号の災害復旧工事に伴い保護されていた国の特別天然記念物・オオサンショウウオが、寺坂小学校の児童らにより出石町桐野の出石川に放流されました。今回の放流は、災害復旧工事がほぼ終了し、餌となる生き物も川に戻りはじめたため、保護していた413頭のうち試験的に70頭を放流したもので、今後、追跡調査を行い、その結果を分析し、残りも順次放流する予定です。オオサンショウウオに「いっずー」と名付け、放流した奥地まひるちゃん（寺坂小2年）は、「いっずーは重くてヌルヌルしていました。また会いたいです」とうれいような寂しいような表情で話していました。

## 但東

河ノ辺の大桜2世の植樹

### 大桜のように大きく きれいな花を

11月26日、但東町大河内の伊吹山などで、河ノ辺の大桜2世の植樹が行われました。

河ノ辺の大桜（市指定天然記念物・ヤマザクラ）は、昨年1月の豪雪で倒れましたが、地元の薬王寺ふるさと委員会が、その前から桜の子孫を残そうと、種を採り苗木を育て、植樹することになりました。

植樹では、高橋小学校の児童52人と高橋幼稚園の園児6人が校庭の片隅に苗木1本を植え、その後、大桜のそばまで5、6年生が登って苗木4本を植えました。6年生の衣川結希さんは、「大桜のように大きく育ち、きれいな花を咲かせてほしい」と話していました。



倒れて枯死した大桜（奥）の近くに2世の苗木を植える児童たち